※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（学）家庭科

教科	（学）家庭	科目	保育実践	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「保育実践」　（実教出版）						
副教材等	ＬＩＦＥ　おとなガイド　デジタル＋　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財について関心をもち、積極的に取り組みましょう。

・保育実践の意義、子どもの心身の発達に及ぼす遊びの重要性、子どもの表現活動の意義と児童文化財の重要性についてワークショップや演習も取り入れながら理解を深め、知識を身に付けます。

・製作活動や表現活動、実際に乳幼児と触れ合う機会等の実践的、体験的な学習を通して、遊びや表現活動、児童文化財の重要性の理解を深めます。
・学んだことを自分の生活や将来の生活に関わる問題と捉え、よりよい生活や職業理解を目指します。

２　学習の到達目標

実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
（１）子どもの表現活動や子育て支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
（２）保育や子育て支援に関する議題を発見し、子どもを取り巻く環境の変化に対応した保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（３）保育の充実を目指して自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの表現活動や子育て支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	保育や子育て支援に関する課題を発見し、子どもを取り巻く環境の変化に対応した保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	保育の充実を目指して自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子どもの表現活動と保育	○造形表現活動 おもちゃの製作 ○言語表現活動 読み聞かせ ○音楽・身体表現活動 リトミック	a:実習を中心として子どもの表現活動の種類やそれぞれの特徴を理解し、関連する技術を身に付けることができる。 b: 実習を中心として子どもの表現活動の種類やそれぞれの特徴、違いをまとめることができる。 c: 実習を中心として子どもの表現活動の種類やそれぞれの特徴を活かした活動を主体的に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート	授業観察 ワークシート	授業観察 レポート プリント ワークシート
2学期	子育て支援と保育	○子ども・子育ての問題 ○子育て支援のための各種施設 ○子育て支援	a:社会的背景を含む子育ての課題を把握し、子育て支援のための各種施設や子育て支援の特徴を理解している。 b: 社会的背景を含む子育ての課題を把握し、子育て支援のための各種施設や子育て支援の特徴と違いの要点をまとめることができる。 C: 社会的背景を含む子育ての課題を把握し、子育て支援のための各種施設や子育て支援の特徴を調べるなど、情報を収集・整理しようとしている。	授業観察 ワークシート	授業観察 ワークシート	授業観察 レポート プリント ワークシート
3学期	保育活動	○保育の活動計画 ○保育実習 劇公演・発表会・交流会	a:認定こども園及び地域の子育て支援関連施設などと連携を図った実習を通して、保育者の視点を理解している。 b:認定こども園及び地域の子育て支援関連施設などと連携を図った実習を通して、子どもの表現活動を保育の場で展開するための基本的な技術を身に付けている。 c: 認定こども園及び地域の子育て支援関連施設などと連携を図った実習を通して、意欲的に学習に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート	授業観察 ワークシート	授業観察 レポート プリント ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度